

## 三陸の近景

⑫

### 住宅の再建

最近、三陸沿岸部で新築物件販売の広告や住宅内覧会の案内を目にする機会が増えました。

山を切り開き、宅地造成が進むとともに、さまざまな形で仮住まいされていた方が物件を購入し、

今後移転先での定住が加速していくものと思われます。

先日、とある仮設住宅を訪問した時のことです。その方は住宅物件の広告を見ながら「いい家に住みたいというか。かなわないけれ

ど、元の家に戻りたいと思うんだよ」とおっしゃいました。

「かなわないけれど…」という言葉に、仮設住宅からの移転、再建に思いを馳せることを単純に喜んでおられない気持ちを感じました。

また、ある男性は「自宅を再建して燃え尽きた。仮設を片付けるのは面倒だから、本当はこのまま住みたい」と寂しげな声でした。

3年近く暮らしてきた仮設住宅を離れることに気持ちの上で整理がつかず、物理的にも負担を感じておられたのです。

住宅の再建は、復興への歩みであることは間違いありません。

しかし、私たちの出会った人々の声からは、再建移転は希望だけでなく、新たな不安や苦悩を生み出しているという現実気付かされました。

(本願寺派総合研究所研究員・金澤豊)

